

朝日新聞 2021年5月4日 「声～若い世代」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校2年(六か年コース) I組 吉川 慶太 君

先日、電車の中で妊婦さんが優先座席の前でずっと立っているのを見かけた。持っていたカバンにもマタニティマークのキーホルダーがぶら下がっていた。

しかし、その前に座っていた人はスマホを見るのに夢中で妊婦さんに気づいていなかった。僕は何も出来ずに歯がゆく、こんなことはあってはならないと思った。

確かにスマホは便利だ。買い物や調べものは出来るし、ゲームや動画を見て暇つぶしも出来る。しかし、ほかのことに気づかないほど依存してはいけないと思う。

電車内はだれもがひたすらスマホを操作。まるで、スマホに人が操られているかのようだ。

体に負担を抱えている人に気づかぬことなどないよう、私たち一人ひとりが意識を変えていかなければならないと思う。